

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2015年1月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「安倍はダメ」「医療介護を充実して」署名待ちで長蛇の列も

「医師・看護師・介護職員増やせ！」署名行動 **4時間で913筆**



1月20日、北海道勤医労が、札幌地下歩行空間で、「医師・看護師・介護職員増やせ！夜勤の改善を！」ロングラン署名・宣伝行動を行いました。開始前から、住民が集まり、「安倍はダメだ」「医療介護のために国のお金を使ってほしい」など話しながら、多くの市民が署名に応じました。署名は11時から15時までの4時間で913筆集まり、参加した組合員からは「政治に不満を持っている人が多い」などの感想が寄せられました。

## 介護制度の改善を シンポジウム・国会議員地元事務所要請・自治体決議



### 旭川 100人でシンポジウム

1月17日、旭川・上川社保協が「介護保険制度を考えるシンポジウム」を行い、市民や市内の介護事業所の代表をはじめ100人が参加しました。

学習講演「医療・介護制度『改革』と介護報酬改定の動き」に続いて行われたシンポジウムでは、ヘルパーの代表からは「現場にボランティアが導入され利用者さんのプライバシーが守られなくなる」、デイサービス事業者からは「小さな事業所の運営が厳しくなる」、利用者からは「知らないうちに変更していく介護保険制度に当事者の私たちは不安を抱えている」と報告しました。市福祉保険部担当部長からは、「第6期旭川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（素案）や市の介護保険制度改正ポイントを説明しました。真下道議は「介護を受ける人も、支える人もだれもが安心できる公的介護制度への改善を進める事が大切」と強調しました。

### 与党事務所も「オールジャパンで取り組むべき」

介護に笑顔を！道連絡会は、1月13、14日、札幌市内にある15人の国会議員事務所を訪問し、「介護報酬の引き上げ」「介護制度の改悪は止めて制度の改善」「介護職員の処遇改善」などを申し入れました。昨年、同会が道内3150カ所の通所介護・訪問介護事業所とその利用者・家族を対象にしたアンケート調査結果や、道労連「介護職員の声」アンケート結果を説明し、介護現場の深刻な実態や介護報酬引き下げで予想される影響などを訴え、改善させる取り組みを求めました。

議員本人は不在でしたが秘書などと懇談できました。与党議員の事務所でも「事務所の地域懇談会でも要望出され、実態はよく知っています」「介護の問題は大きな問題、オールジャパンで取り組むべき」などの意見も出され、中には30分以上懇談したところもありました。野党議員の事務所では、「国会の事務所に行く時は連絡してほしい。議員との懇談の機会を調整させてもらう」という事務所もありました。



### 39市町村議会で 国へ意見書提出

同会では、新たに、自治体キャラバンも行い、介護制度の改善を求める国への意見書提出についての陳情も行っています。（39自治体で採択されています）

## ストップ！暴走政治 1.26 国会開会日デモ

1月26日（月） 集合 18:30  
デモ出発 18:45  
集合場所 狸2条公園（2条市場西側）



## いのちとくらしを守れ！

### 2.21 総決起集会

（集会後はパレード）

日時 2月21日（土）13:30  
場所 自治労会館ホール